

申込により受講する研修

職務の専門性向上

No.	研修名	内容	実施日程
48	管理職研修Ⅰ (いじめ問題に係る対応と管理職の役割)	・いじめ問題に係る対応と管理職の役割	7/4
49	管理職研修Ⅱ (危機管理体制の構築と危機対応)	・危機管理体制の構築と危機対応	9/28
50	管理職研修Ⅲ (学力向上に向けたカリキュラム・マネジメント)	・学力向上に向けたカリキュラム・マネジメント	7/17
51	管理職研修Ⅳ (チーム学校の構築のための地域連携と外部人材の活用)	・チーム学校の構築のための地域連携と外部人材の活用	1/30
54	学校事務職員研修 (学校事務職員としての学校経営への参画)	・学校経営への参画に向けた事務職員の在り方と役割 ・自校における学校経営への参画に向けた課題と方策	9/19
55	司書教諭・学校図書館担当教諭研修 (見通しをもった学校図書館経営の工夫)	・司書教諭・学校図書館担当教諭の役割 ・学校図書館経営の工夫の実際	7/10
56	人権教育研修 (人権感覚を高める指導の工夫)	・参加体験型学習プログラムを取り入れた人権感覚を高める指導の工夫	9/7
57	平和教育研修 (平和教育プログラム実践の充実と活用)	・平和教育プログラムの実際 ・平和教育プログラム実践のポイント	5/31
58	授業づくり研修 (「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり)	・「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり	7/12
59	学びの質を向上させる授業実践研修 (「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり)	・「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり ・授業実践の交流	7/12 11/21
60	学級経営実践基礎研修 (一人一人を大切に学級づくりの在り方とマネジメント)	・一人一人を大切に学級経営の実際 ・子どもの理解に基づいた学級経営の計画・実践・評価・改善	6/4 8/23 12/11

メンタルヘルス

No.	研修名	内容	実施日程
93	メンタルヘルス研修 (自分自身で行うストレスマネジメント)	自分自身で行うストレスマネジメント	7/4

No.	名前	所属	職名
48	阪根 健二	鳴門教育大学大学院学校教育研究科	教授
49	元兼 正浩	九州大学大学院人間環境学研究院	教授
50	高木 展郎	横浜国立大学	名誉教授
51	丸山 涼子		元徳川市立和光小学校長
53	谷山 純子	こども療育センター	医療部長
53	伊藤 啓介	広島国際大学心理学部	准教授
56	三好 久美子	ひろしまこども夢財団	理事長
58,59	田村 学	國學院大学人間開発学部	教授
61	南雲 明彦	明蓬館高等学校	共育コーディネーター
62	尾形 明子	広島大学大学院教育学研究科	准教授
63	桂 幾子	オフィスプライムタイム	代表取締役
64	高野 光司	早稲田大学教育学部	非常勤講師
66	藤崎 育子	開善塾教育相談研究所	所長
67,68	永田 忠道	広島大学大学院教育学研究科	准教授
69,70	長尾 篤志	文部科学省初等中等教育局	視学官

特別支援教育

No.	研修名	内容	実施日程
52	特別支援学級授業づくり研修 (子どもの実態に基づいた【算数・数学科】の授業づくり)	・わかる・できる算数・数学科の授業づくり ・算数・数学科の授業の実際 ・授業の計画立案、取組の評価、今後の視点	8/1 12/6
53	通級指導教室等担当教員研修 (実態に基づく実践力の向上)	・実態把握に基づく実践力の向上 ・発達障害のある子どもとのコミュニケーション ・発達障害のある子どもの理解と保護者支援	6/8 ※ 8/16 ※ 9/12 ※ ※経験2年目までが対象
85	特別支援教育基礎研修Ⅰ (発達障害のある子どもの個別的教育支援計画)	・発達障害のある子どもたちの理解と支援 ・発達障害のある子どもたちの支援の実際 ・将来を見通した教育支援計画の作成・実践の振り返り	6/6 7/31 10/19
86	特別支援教育基礎研修Ⅱ (肢体不自由のある子どもの理解と支援)	・肢体不自由のある子どもの理解と支援	8/3

子どもの理解

No.	研修名	内容	実施日程
61	子どもの理解研修Ⅰ (LDの理解と合理的配慮)	・体験から考える合理的配慮について ・LDIについて知りたいことQ&A	8/23
62	子どもの理解研修Ⅱ (子どものうつと不安症)	・子どものうつと不安症	8/21
63	子どもの理解研修Ⅲ (コミュニケーションスキルの向上)	・人間関係を築くためのコミュニケーションスキルの向上	6/8
64	子どもの理解研修Ⅳ (怒りの感情への対処法)	・感情のコントロールが苦手な子への理解と対応	8/17
65	子どもの理解研修Ⅴ (子どもの理解に基づいた予防的生徒指導の実際)	・予防的生徒指導と生徒指導の三つの機能を生かした授業・学級づくり	7/4 11/6
66	不登校・引きこもり等に係る研修 (子どもの理解と保護者との関わり)	・不登校や引きこもりの理解と対応・支援	8/24

No.	名前	所属	職名
71	柳瀬 陽介	広島大学大学院教育学研究科	教授
72	平木 裕	文部科学省初等中等教育局	視学官
73	向後 秀明	敬愛大学国際学部	教授
73	安河内 哲也	一般財団法人実用英語推進機構	代表理事
74			調整中
75			調整中
76	高旗 浩志	岡山大学教師教育開発センター	教授
83	柿岡 玲子	安田女子短期大学保育科	教授
84	高徳 希	比治山大学短期大学部	講師
85	坪倉 ひふみ	広島市こども未来局児童相談所	次長
86	船橋 篤彦	広島大学大学院教育学研究科	専任講師
92	竹内 和雄	兵庫県立大学環境人間学部	准教授
93	松本 直子	株式会社メディカルフィットネスB-1	健康運動指導士

教科等の専門性向上

No.	研修名	内容	実施日程
67	小学校社会科授業づくり研修 (「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業づくり)	・社会科における主体的・対話的で深い学びに向けた授業づくり・授業の実際	6/29 10/24
68	中学校社会科、高等学校地理歴史科・公民科授業づくり研修 (「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業づくり)	・社会科における主体的・対話的で深い学びに向けた授業づくり・授業の実際	6/29 11/13
69	小学校算数科授業づくり研修 (「数学的な見方・考え方を養う授業づくり」)	・数学的な見方・考え方を養う授業づくり ・授業の実際	6/28 10/31 ※1 11/14 ※2 11/28 ※3
70	中学校数学科授業づくり研修 (「数学的な見方・考え方を養う授業づくり」)	・数学的な見方・考え方を養う授業づくり ・授業の実際	6/28 10/18
71	小学校英語科授業づくり研修 (英語で自己表現しやすくなるようなコミュニケーション活動の工夫)	・英語で自己表現しやすくなるようなコミュニケーション活動の工夫 ・授業の実際	7/30 10/26
72	中学校外国語科授業づくり研修 (「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善)	・「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善の在り方 ・授業の実際	6/8 11/13
73	高等学校外国語科授業づくり研修 (「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善)	・「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた英語授業 ・「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善	5/21 6/18
74	高等学校教科教育専門研修Ⅰ【国語科】 (授業改善への処方箋)	・高等学校国語科における指導の充実	調整中
75	高等学校教科教育専門研修Ⅱ【数学科】 (授業改善への処方箋)	・高等学校数学科における指導の充実	調整中
76	高等学校教科教育専門研修Ⅲ【全教科共通】 (「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善)	・「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善	8/8
77	言語活動の充実に係る研修Ⅰ【中学校国語科編】 (小学校国語科における話し合い活動の充実)	・話し合い活動を充実させた授業づくり ・話し合い活動を充実させた授業の実際	6/27 10/30

※日程は変更することがあります。参加する際には、必ず内部Webに掲載してある実施要項で確認してください。
内部URL: <http://10.91.11.102/>

No.	研修名	内容	実施日程
78	言語活動の充実に係る研修Ⅱ【中学校国語科編】 (中学校国語科における話し合い活動の充実)	・話し合い活動を充実させた授業づくり ・話し合い活動を充実させた授業の実際	6/28 10/31
79	言語活動の充実に係る研修Ⅲ【小学校理科編】 (小学校理科における話し合い活動の充実)	・理科における言語活動を充実させた授業づくり ・理科における話し合い活動の実際	6/6 11/9
80	言語活動の充実に係る研修Ⅳ【中・高等学校理科編】 (中・高等学校理科における話し合い活動の充実)	・理科における言語活動を充実させた授業づくり ・理科における話し合い活動の実際	6/27 11/20
81	小学校道徳科授業づくり研修 (ねらいを大切に授業づくりの工夫)	・授業づくりの基礎・基本 ・ねらいを大切に授業づくりの実際	6/19
82	中学校道徳科授業づくり研修 (ねらいを大切に授業づくりの工夫)	・授業づくりの基礎・基本 ・ねらいを大切に授業づくりの実際	6/22
83	幼稚園教育実践研修 (自立心を育て、人と関わる力を養うための指導の改善と充実)	・幼稚園教育における「人間関係」についての理論と実際 ・「人間関係」に関わる保育の実際・実践交流	6/15 8/20
84	幼稚園教育実践研修 (幼児の発達に応じた運動遊びの指導のポイント)	・運動遊びの指導のポイント	7/10

情報教育 (ICT活用)

No.	研修名	内容	実施日程
87	フラッシュ型教材授業活用研修 -1班-(知識を定着させるフラッシュ型教材の授業活用)		7/30 AM
88	フラッシュ型教材授業活用研修 -2班-(知識を定着させるフラッシュ型教材の授業活用)	・フラッシュ型教材の基本 ・フラッシュ型教材の作成 ・作成したフラッシュ型教材の交流	7/30 PM
89	フラッシュ型教材授業活用研修 -3班-(知識を定着させるフラッシュ型教材の授業活用)		7/31 AM
90	フラッシュ型教材授業活用研修 -4班-(知識を定着させるフラッシュ型教材の授業活用)		7/31 PM
91	ICTを活用した授業づくり研修 (学習のねらいにつながる効果的なICT機器の活用)	・効果的なICT機器の活用法(実技) ・ICT機器を活用した授業の実際	8/23 11/30
92	情報モラル研修 (情報社会におけるネット問題の理解と取組方策)	・情報モラルの必要性や情報に対する責任	6/19

緊急時の研修実施について

原則	(1) 研修開始2時間前の警報等の発表状況で研修の実施を判断します。 (2) 園児・児童・生徒の安全対応を優先してください。 (3) 園児・児童・生徒の安全が十分に確保でき、園・学校運営上支障がない場合は、研修を実施することもあります。	警報等が発表された場合	前日	■研修実施日の前日に、電子メールにて、全園・学校に、対応の詳細について連絡します。 ■午前からの研修 ■7時の時点で警報等が1つ以上発表 → 延期
			当日	■午後からの研修 ■13時開始の研修 ・11時の時点で警報等が1つ以上発表 → 延期 ■14時30分開始の研修 ・正午の時点で警報等が1つ以上発表 → 延期 ■その他の時刻に開始する研修 ・研修開始予定の2時間前の時点で警報等が1つ以上発表 → 延期